**資料３**

**■専門部会からの報告について**

**就労支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **■第３回就労支援部会** |
| 日時：令和６年１２月２３日（月）　午後２時００分～午後３時３０分 |
| 会場：品川介護福祉専門学校　５階特別講義室１・２・３ |
| **１．自主製品販売イベントの報告、年間総括について**   1. 自主製品販売イベント「輪の品マルシェ」の開催状況   　　品川区の担当者から説明があった。  ・ＪＲ目黒駅、大井競馬場、桐ケ谷斎場において物販イベントを年間延べ４回開催。「輪の品マルシェ」と名付け、継続的に販売会等を行ってきた。  ・１１月では大井競馬場においては９７,３５０円、桐ケ谷斎場６２,２４０円の売り上げがあった。  ・関係機関と密接な関係を築くことができて、今後のグッズの発注などにつながる可能性があるので、話が具体化したら皆様に相談していきたい。   1. 参加事業所の感想   ・ＪＲ目黒駅は本当にたくさんの方が来て、よく注目していただいた。通る方が今度はいつやるのと声をかけていただき非常に有難かった。このような人がたくさん行き交う場、いろいろな人が集まる場で、今後また出店の機会を企画していきたいと思った。  ・まだ売り上げとしてはそれほど大きくはないが、実際にこういったところに出店させていただいて、地域の方に認知をしていただけたという意味では、実施した意味は大きかった。  ・利用者にとっても、このような一般の社会との関わりを持てるような機会に参加するのは非常に良かった。実際に販売した利用者が今後の販売会を楽しみにしており、作り手のほうも、喜んでいただける商品を作ろうといろいろな案を出して意欲的になってきた。  ・販売場所、時間帯、客層などに合わせて商品を選ぶ必要がある。大井競馬場では、サブレやドーナツなどの軽食は、若い世代の方々に購入していただけたものの、お菓子全体としてはあまり売れなかった。 |
| **２．グループワーク** |
| 資料をもとに４～５人が集まりグループワークを行い、課題等について話し合った。概要は次のとおり。  **（就労継続支援Ａ型・Ｂ型・自立訓練（生活訓練））**   1. 令和６年度の平均工賃の現状について   ・東京都の平均工賃は、令和４年度で２１，４８９円（新算定式で算出）であり、未達成の場合はこの金額を、達成している場合は１０％アップを目標としている。これに対して、品川区の平均工賃は約２６，０００円（新算定式で算出）。東京都の平均工賃より高くなっているが、品川区の事業所数が東京都と比べると少ないことや平均工賃に達していない事業所もあることなどから、一概には区内全体の工賃が向上しているとは言い難い。  ・前年度に比べて平均工賃は上がっていても、最近の物価高騰などに伴い、来年度同じ水準が維持できるかどうかは厳しいという見通しを、多くの方が持っている。理由として受注商品が増えていないこと、利用者の出欠と労働時間が要因となっている。   1. 平均工賃を上げるための取り組みについて   ・元請けとの単価の交渉が重要である。  ・商品や製品の原価が適正かどうか見直して、必要があれば価格の改定を行っていく。  ・新規作業の開拓や新商品の開発、自主製品のブラッシュアップが必要。  ・常設販売する場所を増やせないか。  ・情報の収集と営業をかけていくことが必要。  ・利用者が出勤率を高め、労働時間を上げていかないと工賃が上がらない仕組みになっている。そのため、精神障害の方などが安定して仕事を続けられるよう、サポート体制をつくることが必要。  **（就労移行支援・障害者就労支援センター・自立訓練（機能訓練））**   1. 金銭面で厳しく、すぐに働きたい方に活用できる社会資源について   ・アセスメントでどのくらいの困窮具合か、家族支援は可能かなどの状況を把握することが大切。支援員が間に入り調整した結果、家族支援を受けられたケースがあった。  ・ハローワークでの就職活動や、社会福祉協議会が扱っている生活福祉資金貸付事業等も検討したらどうか。   1. 就労しながら、通所をする方への対応可能な支援等について   ・フルタイムや正社員を目指したい意向があるが、気持ちが不安定になることがある方の場合、出退勤の電話確認、週１回の面談、上長との連携、通勤の同行などが有効であった。  ・実習のフィードバックが有効。   1. 利用者が自分に合った仕事で働く（よりよい働き方を選択できる）ための工夫について   ・就労支援センターでワークサンプルを行い、1週間ほどで評価ができる話を共有した。  ・心身障害者福祉会館の自立訓練で理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による専門職の評価を受けることができるという話を共有した。   1. 就労支援の質を高めるための工夫について（または区内で工夫が必要なこと）   ・職員の業務の見直しが大事。支援に充てる時間を確保するために、業務を整理して、支えあうような仕組みづくりを行う。  ・会社の人事担当など外部の方に来ていただいて、いろいろな方の話を取り入れながら支援していくことが有効。 |
| **３．超短時間雇用促進事業の進捗状況の報告** |
| ・１１月末時点での進捗状況を報告。登録企業は３４社、登録者は４０名。見学は１１月に１社３名、実習は１１月に３社７名。マッチングが成功した就労事例は４名。  内容は、消毒や清掃等。今後は順次、データ入力、食品の仕分け、清掃、見守りなどの仕事が候補にあがる予定。  ・定期的にげんき品川で説明会を実施中。訪問しての説明会も行っているため、希望する事業所等があれば教えてほしい。個別に連絡させていただく。 |
| **４．その他** |
| ・２月１８日火曜日に、超短時間雇用促進事業のシンポジウムを開催予定。内容は精査中。  ・区の戸籍住民課に区政情報が流れるデジタルサイネージがあるが、そこで「輪の品マルシェ」を発信するように調整している。原稿等がまとまり次第情報を発信したいと考えている。 |
| 出席：部会長：区立発達障害者支援施設長 |
| 部会員：１．品川区立心身障害者福祉会館 |
| ２．品川宿 |
| ３．げんき品川 |
| ４．ジョブサ品川区 |
| ５．ミラトレ大井町 |
| ６．プラスタイル大井町 |
| ７．福祉工場しながわ（プチレーブ） |
| ８．すまいる・さぽーと品川 |
| ９．ガーデン |
| 10．さつき |
| 11．第二しいのき学園 |
| 12．かもめ第三工房 |
| 13．トット文化館 |
| 14．ふれあい作業所西品川 |
| 15．ふれあい作業所西大井 |
| 16. TODAY南品川 |